

第13回企業紹介

小牧木材 株式会社

〒501-1162 岐阜県岐阜市西改田若宮94番地

語り手：小牧木材 株式会社 代表取締役 小牧 知宏 氏

聞き手：大垣西濃信用金庫 事業支援部長 臼井 孝優

臼井部長 平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、御社は明治22年創業から130年あまりの業歴を有しておられますが、初めに御社の歴史や事業についてお聞かせください。

小牧社長 弊社は、明治22年に材木業として創業しました。

その後、木材チップや木毛セメント板などの事業も行い、

昭和53年より建設現場で使用される仮設資材のレンタル業に業種転換し現在に至っています。取扱商品は、枠組み足場を中心に、敷鉄板や梯子の他、内装現場に使用される足場板や脚立、土木現場で使用される支保工など計80品種ほどの取り扱いがあります。



代表取締役
小牧 知宏氏



<会社概要>

- 創 業 明治22年
- 設 立 昭和15年3月
- 事業内容 建設用仮設資材レンタル業
- 資 本 金 3,000万円
- 従業員数 48名



杉足場板



ビディ足場

— 御社の商品の特徴についてお聞かせください。

小牧社長 弊社商品の中で特徴的な商品を2種類紹介します。1つ目は、杉足場板、端太角、コンパネなど木材を加工した商品です。木材は特に湿気に対する処理が大切で保管管理が大変なので、他のレンタル業者はなかなか扱いません。弊社は材木業時代に得た経験と知識を生かし、保管のためのしっかりとした倉庫を完備しております。

2つ目は、ネットやシート、先行手摺や幅木といった現場の安全に関する商品です。建設現場における足場からの墜落転落事故がなかなか減らない中、現場の安全に対するニーズが強まっています。現場の意見をメーカーに伝え、商品の改良につなげた実績もあります。また、お客様に商品を安定的に供給するため、現場から返却された商品をいかに早く貸し出せる状態にするかが重要になってきます。そのために足場板洗浄機、鉄板洗浄機、単管選別機などの機械を導入し、商品の回転率を上げる努力を行っております。



敷鉄板



現場風景①



現場風景②

弊社の企業理念

【経営理念】

より良い社会の実現に貢献する

私たちは会社を通して社会に貢献することができます。

そのために仕事で自分自身を磨き、“いい会社”をつくることを心掛ける。

【経営ビジョン】

楽しく、自分らしく仕事ができる会社を目指す

何かをやるかやらないか迷ったら、「それをやって楽しいかどうか？」で判断する。楽しくないものも、楽しくできないか何度も考えトライし、それでもダメならやめる。楽しくないものは、そもそもその人にとって「正しくないやり方」だと考える。もっと自分に優しくなろう！

【経営方針】

- 年輪経営：毎年少しずつ確実に成長する
どんな環境であれ、急な成長は求めず、会社が昨年よりちょっと良くなったと実感できるように努力する。
- 健康経営：社員の健康を最重要視する
楽しく健康のことを考える。
- 心の経営：相手を思いやり、相手の立場に立って考える
相手の行動は変えられない。相手の立場に立って考え、自分の行動を変えてみる。
- 哲学する経営：「何が正しいのか」多角的に考える習慣をつける
今までの常識を疑い、もう一度自分なりに定義してみる。
- 行動する経営：1%でいいから、まず自ら行動に移す
地球は行動する星である。行動に移してこそ自分の想いが成就する。

— 経営理念に対する想いをお聞かせください。

小牧社長 会社を運営していく上で最も重要になるのが経営理念です。なぜなら社員それぞれ多様な価値観を持っていて、何をしても正解がない中で、会社は常に向かうべき方向を示さなければならないからです。経営理念を浸透させるため、朝礼などで「いい行動」「いい考え方」を社員に伝え、常に会社全体で「いい会社とは」の問いに対する答えを探し続ける社風作りを心掛けています。

— 最後に御社の課題や今後の抱負についてお聞かせください。

小牧社長 今後の大きな課題としてまずは人材です。人材の採用難や社員の高齢化に対応するため、福利厚生を充実させ、社員の健康維持と職場環境を整えることに全力をあげていきます。

また、とてもたくさんある仮設商品の種類の中で、どの商品をどれくらい保有するかが経営戦略上の鍵となってきます。そのため、お客さまからの要望を前向きに検討し、保有する商品構成の見直しや商品改良には積極的にトライしていきたいと考えています。

— 本日は大変お忙しいところ、興味深いお話を賜り誠にありがとうございました。これからも時代の変化と共に進化する企業として、一層躍進されますよう御社の今後増々の発展を祈念いたします。